



じょうとう

城東通信「JTK」



No 5

令和8年8月25日(火)

城東小学校

校長 笠川智香

学校教育目標「心豊かで たくましく いきぬく子」

よく考えやりぬく子〈知〉 仲よく協力する子〈徳〉 健康で体力のある子〈体〉

2学期 始業しました！！ 38日ぶりの登校です



25日(火)の始業式が終わり、子どもたちの輝く笑顔とともに元気な声が学校に戻ってきました。ニュースでは水難事故に関するものが多いなか、大きな事故やケガ等なく元気に始業式を迎えることができました。

門に立っていますと、1学期以上に元気な「おはようございます。」が聞こえているかと思えば、眠たそうな顔やはにかんだ表情の子ども、真っ黒に日焼けした姿の子など様々な表情の姿に出会い、また夏休み中に取り組んだ作品をかかえ登校する姿を見ることができて、とてもうれしかったです。

また、朝から通学路に見守り隊の方々が、子どもたちの安全のために立って下さり、挨拶を交わしてくださいました。路上は照り返しもきつく暑さも倍増する中、本当にありがとうございます。子どもたちから、「おはようございます」「行ってきます」・・・「ただいま」と顔を見て挨拶を返すことで、感謝の気持ちを表してほしいと思います。

◎ 公開授業 (大阪府 SE 推進事業)・・・9/30(水)

昨年に引き続き、大阪府教育庁の「情報活用能力をはぐくむモデル校」として研究と実践に取り組んでいます。9月30日(水)の午後から研究の一端を大阪府内の教員の方々に公開し、今後の研究の充実・進化を図りたいと考えています。1～3年、4年1組、5年2組、6年2組で授業をします。

*保護者の皆様は、公開(参観)の対象ではありませんのでご了承ください。



◎秋の交通安全運動・・・9/21(月)～9/30(水) 10日間

岸和田市内でも、歩行者・自転車と車との事故が、安まちアプリでメール配信されています。被害者にも加害者にもならないよう、交通ルールを守って安心な地域にしていましょう。

『合言葉 止まる 待つ 見る 守ろうよ』 文部科学大臣賞 他府県の小学生



授業参観のあと、児童引き渡し訓練です・・・9/11(金)

保護者の皆様には tetoru(テトル)配信でお知らせしていますが、9月11日(金)の授業参観後に城東小学校では初めての引き渡し訓練を実施いたします。

平日になり申し訳ございませんが、授業参観の後引き渡し訓練のご参加よろしく願いいたします。

終了時刻は遅くとも15時20分頃には終了予定です。

想定 震度5弱以上の地震が発生

- ・上記の地震では、お迎えが必要。またテトル配信はできません。
- ・繰り返す地震や通学路が危険であるため、児童だけでは帰宅させません。

訓練当日について

- *「ちびっ子」へ行く児童はちびっ子の先生のお迎えで移動
- *訓練参加ができないご家庭の児童は、様子を見て指示に従い一斉下校

★第1回授業アンケート回答のお礼

各学級の授業を対象に、授業と学習に関するアンケートを実施いたしました。90%近くの回答をいただきました。ご多用の中お時間を割いて、お子さまの授業に対する声を聴いていただき、ありがとうございました。2学期以降、教職員の指導力を高め、より分かりやすい授業を行うための参考として活用してまいります。

『^{ほんき}本気』 坂村 真民

本気になると ^{せかい}世界が^か変わってくる ^{じぶん}自分が変わってくる

変わってこなかったら まだ本気になっていない^{しょうこ}証拠だ

本気な〇〇 本気な〇〇 ああ ^{にんげんいちど}人間一度 こいつをつかまんことには



皆さんなら、〇〇の中に、どんなことばをあてはめますか??



2学期は学習内容も行事もいろいろあります。初めてのこともたくさんあることでしょうし、人によっては苦手なこともでてくるかもしれません。苦手そうなこともやってみることで、新しい自分を発見できるものです。

学校でしかできないこと、みんなと一緒にだからできること、「前向き＝プラス思考」でやっていきましょう。



◎平和週間によせて・・・8/25～8/31(火～月)

『戦争で死ぬために我が子を産んだのでしょうか』

亡くなったウクライナ地方警察官（26歳）の母親を取材して

春木市民センターで開かれた「ウクライナ 戦火に生きる人々」のウクライナ取材映像報告「戦火で生きる人々を見つめて」の講演の中で報告された、母親の取材映像で語った「戦争で死ぬために我が子を産んだのでしょうか」の言葉に深い衝撃を受けました。

「ロシア軍によるウクライナ侵攻から4年。市民はミサイルなどの攻撃にさらされ、学校では子どもたちが防空警報のたびに地下シェルターへの避難を強いられています。前線地域の町や村から逃れる住民も後を絶ちません。戦火に翻弄される市民の姿の記録から、ウクライナの惨禍について知り、人々に思いを寄せる機会となれば幸いです。」のポスターのとおり、今の日本では考えられない事実が今も続いています。

最後に取材を通して、「ウクライナであれロシアであれ、命を奪われるのは罪もない子どもやお年寄りを含めた市民です。戦争が始まれば、すぐには終わらず長い間続いてしまう。戦争は絶対に始めてはいけない・・・。」とおっしゃっていた言葉がささりました。

皆さん、平和週間には今一度、戦争と平和について、考えてみましょう。



2学期、保護者・地域の皆様には学校教育活動にさらなるご理解とご支援を賜りますよう
どうぞよろしくお願い申し上げます。